

技能検定制度の推進

概 要

職業能力評価制度の推進

名 称	技能検定	社内検定
概 要	国が労働者の有する技能を一定の基準に基づいて検定し、公証する制度	事業主等が実施している社内検定のうち、技能振興上奨励すべきものを厚生労働大臣が認定する制度
対象となる技能及び職種等	全国的に企業間で共通性のある技能で、対象労働者が多い職種を対象 現在、機械加工、建築大工等136職種について特級、1級、2級、3級等に区分して実施（等級区分のない職種（単一等級）もある）	企業内における特異な技能を対象 平成23年3月1日現在、食品の販売加工、自動車部品管理等141職種（41事業主等）を認定
認定等の内容	合格者は、厚生労働大臣名（特級、1級及び単一等級）、都道府県知事名又は指定試験機関の長の氏名（2級、3級等）の合格証書が交付され、「技能士」と称することができる	認定を受けた社内検定については、「厚生労働省認定」と表示することができる
受検対象者	原則として一定の実務経験を有する者	社内検定を実施する事業主等に雇用される労働者

等 級	技能検定試験の概要
特級	検定職種ごとの管理者又は監督者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
1級	検定職種ごとの上級の技能労働者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
2級	検定職種ごとの中級の技能労働者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
3級	検定職種ごとの初級の技能労働者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
基礎1級	検定職種に係る基本的な業務を遂行するために必要な技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
基礎2級	検定職種に係る基本的な業務を遂行するために必要な基礎的な技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。
単一等級	検定職種ごとの上級の技能労働者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とする。

詳細データ

技能検定の実施状況

	特 級	1級	2級	3級	基礎1級	基礎2級	単一等級	合 計
申請者数 (人)	4,057	89,479	353,305	288,614	183	32,338	7,143	775,119
	68,812	2,869,890	5,864,395	1,418,878	2,837	380,853	273,521	10,879,186
合格者数 (人)	832	34,320	104,413	119,346	160	30,313	4,092	293,476
	19,850	1,230,825	2,182,722	638,091	2,612	360,885	154,679	4,589,664
合格率 (%)	20.5	38.4	29.6	41.4	87.4	93.7	57.3	37.9
	28.8	42.9	37.2	45.0	92.1	94.8	56.6	42.2

資料：厚生労働省職業能力開発局調べ。

上段：平成22年度、下段：累計（昭和34年度～平成22年度）